

J Aならけん自己改革取組宣言

これまでも、これからも、地域とともにJ Aならけんは総合事業を展開します

「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」に取り組みます。このため、協同組合の原点に立ち、組合員の皆さんとの話し合いを深めます。そして、「総合事業」の強みを活かし、「なくてはならないJ Aならけん」を目指してまいります。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いをかなえていく組織です。

- J Aは、農業者（正組合員）が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業（J Aバンク）、共済事業（J A共済）などの様々な事業を、営農相談やくらしの相談活動を通じて、総合的に結びつけ、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。
- J Aの経営基盤の安定は、信用事業や共済事業などを含めた総合事業により成り立っています。これにより、営農指導員の配置や多額の農業施設への投資が可能となっております。
- 農業者以外の方で、地域農業の発展や地域づくり、ニッポンの食を応援していただける方は、地域農業の応援団として准組合員として加入いただいております。
- 准組合員は、いわば、農業者と地域農業の応援団で、J Aの総合事業を通じて地域の農業とくらし、みんなの願いをかなえる取り組みを支えあっています。

総合事業体として「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に向けた、令和元年度の主な取組計画を紹介します。

1. 営農指導事業

TAC（営農・販売）担当者は、集落営農組織の立上げや新規就農者の育成・支援、最新の営農技術や農政情報の提供などに取組みます。また、担い手サポート室は、新たな担い手の育成や確保のため栽培育成プログラムなどに取組みます。

2. 農業・地域活性化積立金活用事業の実施【予算額：1億円】

農家組合員や新規参入者等が行う規模拡大などの経費の一部助成などを行い、農業生産コストの低減・農業者の所得増大・農業生産の拡大・地域の活性化に取り組めます。

3. まほろばキッチン事業【取扱高：18億3,700万円】

安全・安心・新鮮な農畜産物を提供する販売拠点として消費者に農畜産物の情報提供と食育活動により地産地消の推進を図ります。